

Claude Achille Debussy



ドビュッシーの 初期ピアノ作品の楽しみ

～ベルガマスク組曲を中心に～

その色彩的な音の扱いから、印象派の絵画と並んで語られることの多いドビュッシーの作品。美しい音色、でも、どことなく捉えどころがない、そんな印象をお持ちの方も少なくないかもしれません。今回は、ドビュッシーの作品をより身近に感じていただけるよう、彼の作品中最も有名な「月の光」を含む、「ベルガマスク組曲」を中心に、お話しをしたいと思います。当時のフランスの芸術の動向や、彼の人生を織り交ぜながら、ピアノの演奏と共にわかりやすく進めます。

もともとドビュッシーの作品に興味をお持ちの方はもちろんのこと、全くご存じない方にも楽しく新しい響きの扉を開けるように、工夫したいと思っていますので、どなたでもお気軽にご参加下さい。

日程 2015年10月17日(土)

曜日・回数 土曜日(全1回)

時間 13:00～15:00

受講料 3,000円

定員 100名

講義内容 ドビュッシーのピアノ作品の中でも、特に親しみやすい「ベルガマスク組曲」を中心に彼の音楽の魅力をわかりやすく解説いたします。

目的・目標 ドビュッシーの音楽に、より一層関心を持っていただけましたら幸いです。

ご受講に関して 持ち物・諸連絡・教材・講座を受けるために必要な事項等筆記用具をご持参ください。講座資料を配布いたしますが、更にご興味のある方は、楽譜をご持参ください。

後援 ■ PTNA 一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)



講師プロフィール 中島 裕紀

東京学芸大学ピアノ選修卒業、同大学院修士課程修了、ドイツ国立ブレーメン芸術大学専攻課程(大学院)ピアノ科を満場一致の最優秀の成績で卒業。大学在学中 1986年の銀座ヤマハホールにおけるジョイント・リサイタルを皮切りに演奏活動を開始。在欧中もソロリサイタルや音楽祭をはじめ、多くの公のコンサートに出演し、紙上等で好評を得る。帰国後は1993年の帰国リサイタル以来、リサイタルを中核として、日本及びドイツで様々な形で演奏活動を展開している。2010年のショパン&シューマン生誕200年記念リサイタル、2011年のリスト生誕200年記念リサイタル、2012年のピアノデュオコンサート、2013年のリサイタル「ショパンの夕べ」、2014年リサイタル「シューマンの情景」はいずれも月刊「ショパン」において、その色彩豊かな音色としなやかな表現力を高く評価される。また、トークを交えて子供たちにピアノ音楽に親んでもらうコンサートや、女優神田さち子と共に「語りとピアノのコンサート」も数多く手がけている。その他、ピアノ指導講座、公開レッスン、演奏アドバイス、審査等を各地で行う。現在、東邦音楽大学教授、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会正会員。

問い合わせ先

上記以外にも楽しい講座を沢山ご用意しております。お気軽にお問い合わせ下さい。

お問い合わせ
お申し込み先

東邦音楽大学エクステンションセンター

〒112-0012 東京都文京区大塚4-46-9 TEL. 03-3946-9667 FAX. 03-3946-2455 <http://www.toho-music.ac.jp/>